CPD単位確認書　※必要単位を満たしていますか。　（様式6-2　旧基準）

注意　1. CPD単位の集計表です。実務実績免除者以外の方は提出して下さい。
2. この書類では単位申請できません。『CPD単位換算表』を参照の上、
別紙「CPDプログラム認定申請書」にて申請して下さい。

会員番号	
氏　名	
対象期間	

継続能力開発の種別		研修内容	単位換算方法	単位数	認定
■CPD個人実績表		データ登録済の単位数…個人実績表を添付して下さい。　<うち実務＿＿単位>			
■CPD手帳単位		CPD手帳又は貼付シートの未登録バーコード単位			
■今回プログラム認定申請書で申請するCPD単位合計					
1 活動型研修	1.1 社会貢献活動型	住宅相談、まちづくり活動、応急危険度判定、行政支援活動、裁判所 調停委員等、住教育支援など	活動時間×2		
	1.2 情報提供型	講習会講師、各種講演、論文発表（論文作成は実務実績）等	活動時間×2		
	1.3 委員会活動型	各種委員会、審査会など（他団体を含む）	1回（2時間）1単位。		
2 参加型研修	2.1 認定研修	特別認定研修（指定講習など）	受講時間×2		
		認定研修（特別認定以外の公益法人等主催の講習会）	受講時間×1		
	2.2 他講習会、見学会、社内研修等	認定研修以外の講習会、講演会、視察旅行等、社内研修等	参加時間×1（目安：一日6単位、2時間未満は2単位） （印刷物などの事実を証明できる資料が必要） ・展示会は一律1単位。海外視察は1日2単位／出帰国日は単位認定外		
3 自習型研修	3.1 認定教材による研修	雑誌記事・連載講座（指定する建築関連記事等については、10頁あたり1単位。単発の特集記事は50頁あたり1単位を原則として、内容により加減。）	・会誌、下記雑誌等の認定講座には単位バーコードが掲載されています。（連続講座は最終号に掲載）		
			・日経ｱｰｷﾃｸﾁｬｰ、日経ﾎｰﾑﾋﾞﾙﾀﾞｰ、建築技術、建築知識、新建築、彰国社の認定講座は個別に単位認定		
		認定図書	プログラム評議会で個別認定（内容と頁数により、1～5単位で認 定）		
■今回専攻申請書3-1、添付資料等で申請する実務によるCPD単位の合計					
4 実務によるCPD	加点による単位	資格の取得、雑誌・本の執筆（地域貢献活動・裁判所・住宅相談・執筆等は、実務状況に併せ、研修・実務いづれか一方での申請可。）	・国家資格：10単位、民間資格：5単位　・博士号取得：20単位 ・本執筆（10、共同執筆5）　雑誌（2、10頁以上4単位） ・コンペ（応募：5　入賞：10）　・展示会出展：2単位 ・非常勤講師　1講座5単位（半年）　その他		

実務期間による単位	業務期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	月数	認定
	2005年	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
	2006年	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
	2007年	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
	2008年	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
	2009年	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
	2010年	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
	各年ごとに業務を行った月のセルにﾁｪｯｸをつけ、月数の欄に月数の合計を記入											小計			
	小計×2単位														

合　計（右に特記事項等記入）		＿＿＿＿	／250

※審査欄			